

## イスラム資本市場の概要と要点

吉田悦章

### 目次

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 1. イスラム金融の概要      | 4. 日系機関による事業機会の可能性 |
| 2. イスラム金融の資本市場    | 5. 結語              |
| 3. 海外におけるイスラム資本市場 |                    |

本稿では、イスラム金融の概要について資本市場の面を中心に紹介する。イスラム金融で利息を取らない点はよく知られているが、利息に相当する部分があるスキームや一般の投資に似たスキームを用いて取引されている。先進地域であるマレーシア、ドバイ、ロンドンの状況を紹介し、日系機関の事例についても概観する。そして、日本の制度変更の方向性に触れつつ、金融機関の業態と制度との適合性について簡単に整理する。

### 1. イスラム金融の概要

イスラム金融については、わが国でも多くの書籍が発刊されるなどして、一定の認知度は得られたように思う。そこで本稿では、イスラム金融の基本を簡単に紹介し、イスラム資本市場を中心に整理することとする。

#### (1) イスラム金融の考え方

イスラム金融とは、イスラムの教えに沿った金

融のことである。基本的には、イスラムの教え(シャリヤと呼ばれるイスラムの行動規範)に反する要素を可能な限り排除して行われる取引である。

より具体的には、取引構造面と資金使途面の二つに着目することができる。取引構造面で禁止される要素として、第1に金利(Riba; リバー)がある。これは既によく知られた点であろう。イスラムの聖典コーランでも「アッラーは商売はお許しになった、だが利息取りは禁じ給うた」(第2章「牝牛」275節(注1))とある。イスラムで禁



吉田悦章(よしだ えつあき)

ハーバード大学留学後、一橋大学商学部卒業。1995年に日本銀行入行後、国際局、金融市場局、国際金融情報センター・シンガポール駐在(出向)、調査統計局等を経て2007年に退職。同年4月より国際協力銀行調査役。08年4月より早稲田大学客員准教授として同大学院ファイナンス研究科でイスラム金融を講義。日本金融学会会員。平成18年度財務省イスラム金融研究会委員。著書に『イスラム金融入門』(東洋経済新報社)ほか。

(注1) 井筒俊彦訳『コーラン(上)』(岩波文庫)。